

①発達に支援が必要な子どもへの理解を深めるために、現在具体的に取り組んでいること

●啓発

健康支援課	1歳6か月児健診、3歳児健診の会場に「あたたかく見守ってください。」のポスターを掲示し啓発。
障がい福祉課	発達障がい啓発週間では、市役所展望回廊のライトアップ(青)や 青色の市旗を1週間掲揚した。 4, 9, 12月に市庁舎の市制広報用テレビモニターに「あたたかく見守ってください」のポスター等の放送を実施。
こども保育課	発達に支援が必要な子どもに関するポスターなどを各施設や保育課等に貼り、理解を深めるための啓発に努めている。
本大久保第二保育所	きらっといっぽの会の「あたたかく見守ってください」のポスター掲示(職員玄関・保護者玄関)。
東習志野こども園	ポスターやパンフレットなどの掲示。
あじさい療育支援センター	「きらっといっぽの会」主催のおはなしサロンの案内。 センターだよりやほけんだより、たべものだよりの配布。
ひまわり発達相談センター	広報習志野、ホームページ等で成長発達に心配のある子どもの相談支援についての情報提供。

●研修

障がい福祉課	県等が主催する研修への参加。
こども保育課	学級運営支援事業を計画的に進めていき、支援を要する子どもへの具体的な援助方法について助言を行っている。また、支援を要する子どもを含めた学級運営についてアドバイスしている。 公立施設、私立施設の支援員向けに年3回の支援員研修を実施している。
児童育成課	千葉県立習志野特別支援学校や教育委員会指導課等に講師を依頼し、放課後児童会職員(直営、運営委託事業者)に対し、特別な支援が必要な児童の児童理解、接し方などの研修を行う。 他の市町村の放課後児童会の支援員を呼び、支援内容や子どもへの接し方の研修を予定している。
東習志野こども園	園内特別支援研修・学級運営支援事業・講師依頼研修
あじさい療育支援センター	支援会議の場で、各クラスから対応に悩んでいる子をあげて、普段困っていることについて意見交換を行った。 外部講師を招き、所内療育研修を実施した(R5年度は、健生病院より井出みどり先生をお招きして、研修を行った)。 歯科医師を講師として招き、摂食研修を行った(習志野市歯科医師会、日本大学歯学部より来ていただいた)。 保護者や幼保こども園職員に対して、摂食研修を行い食事場面で支援が必要な子どもに対しての具体的な支援方法について学ぶ機会を作った。 発達協会実践セミナー参加等

ひまわり発達相談センター	発達支援研修（講師派遣型）：幼稚園、こども園、保育所等の各施設に職員が講師として訪問し、子どもの発達支援について共に考えた。
	発達基礎研修：幼稚園、こども園、保育所等の各施設職員を対象に発達に心配を感じたり、サポートが必要と感じたりする子どもたち(主に就学前)についての基礎的な知識を伝える研修を実施。
	職員対象に所内研修・所外研修を実施し、子どもへの支援方法について研鑽を積んでいる。
指導課・総合教育センター	特別支援教育を推進する為、様々な視点から研修を企画している。
	通常学級の担任の先生方向けにも、特別支援教育関連の研修を行っている。

●乳幼児個別支援計画（個別の教育支援計画）

秋津保育所	既に個別支援計画を立てている子どもは、指導案より担当保育士が捉えた子どもの姿や保育者の思いなどを読み取る。実際の子どもの姿を確認し、担当保育士と手立てを考えていく。
東習志野こども園	個別支援計画の周知・説明。
藤崎幼稚園	ひまわりやあじさい経由の子が3名在籍で2名が個別支援計画の作成を進めている。 子どもや保護者の困り感や必要な支援を共に考えている。就学予定の子どもは、保護者との関係を築き、子どもの様子を共有しながら個別支援計画に繋げていきたい。
あじさい療育支援センター	乳幼児個別支援計画作成にあたり保護者と面談を実施し、子どもの姿を確認したり支援方法について共通理解をはかっている。
ひまわり発達相談センター	保護者や関係機関と連携を取りながら、乳幼児個別支援計画の効果的な活用やサポートを行った。
指導課・総合教育センター	個別の教育支援計画や、ライフサポートファイルのもつ重要性について、研修等で市内の各校へ伝えている。

●ライフサポートファイル

障がい福祉課	福祉サービス申請時のライフサポートファイルを活用した聞き取り
東習志野こども園	個別支援計画作成の際、保護者にライフサポートファイルの説明と配布
子育て支援課	ライフサポートファイルの周知用チラシを課の窓口に設置して周知し、希望者に配布している。
あじさい療育支援センター	面談の場にライフサポートファイルを持参してもらい、これまでの経過などを一緒に振り返ったり、活用方法について確認したりした。
ひまわり発達相談センター	保育所、幼稚園、こども園等の所属園や小規模保育所、市役所窓口などにチラシを配布し、具体的な活用について周知を図った。就学前と就学後（小中高）の2種類作成した。
指導課・総合教育センター	個別の教育支援計画や、ライフサポートファイルのもつ重要性について、研修等で市内の各校へ伝えている。

●人権教育

東習志野こども園	人権研修受講職員が職員会議で周知、セルフチェック
あじさい療育支援センター	普段の何気ない言動が虐待にあたっていないか？資料を元に確認し合う場を持った。

その他

東習志野こども園	習志野市総合教育センターの教育相談やひまわり発達相談センターについての周知
藤崎幼稚園	職員間でも園内支援研を行い、個別に支援が必要な子どもの実態や適切な援助について共通理解を図り、園全体で同じ支援ができるようにしている。
あじさい療育支援センター	幼稚園保育所、こども園職員を1日受け入れクラスに入ってもらい、職員の支援方法を直に見て学んでもらう。子どもの降所後にはカンファレンスを行う。
	子どもが通っているこども園に出向き、園での生活の状況把握を行い、支援方法について意見交換の時間を持った。
教育総務課	教育振興基本計画に沿ったその年度の教育行政方針を作成する中で、特別支援教育についての方針を作成する。
	年度当初に立てた各施策の取組について、点検・評価を行い公表する。教育支援教育の施策について、その取組の点検・評価を行う。